

# 平成30年度「岡山県児童生徒いじめ防止ポスター・標語」県教育長賞・優秀賞作品

県教育委員会では、6月の第1月曜日からの1週間を「いじめについて考える週間」と設定し、学校や家庭、地域において、いじめを許さない意識や態度を育み、いじめの未然防止に向けた取組の充実を図るとともに、「いじめ防止ポスター・標語」の募集を行っています。  
次の作品は、平成30年度に応募のあった作品のうち、県教育長賞及び優秀賞を受賞された作品です。 ※学年は平成30年度のものです。

## 岡山県教育委員会教育長賞

### 【ポスターの部】

加害者や被害者ではなく、傍観者の視点で描きました。いじめを止めたいけれど怖くて勇気が出ない、そんな人たちにに向けたポスターです。見て見ぬふりをするのではなく、一人一人がいじめを悪いことだと認識し、止めていくことが大切だと思います。この世からいじめがなくなればよいと思います。



県立津山工業高等学校 2年 高本 理帆さん

### 【標語の部】

#### 気づいてよ ぼくがだしてる 赤しん号

ぼくは、友だちが大きいです。だから友だちが辛い時、何も言わなくても、気づいてあげられる人になりたい!そして、ぼくが辛い時も、友だちにそばにいてほしいなあと思って、このひょう語を作りました。

笠岡市立中央小学校 3年 吉田 琥太郎さん



#### 考えよう。文字にする前、送る前、心にささるトゲはない?

わたしは、相手の心に一度ささったとげは簡単に消えないと思います。ラインやメールで文字にしたり、送ったりする前に一人一人がよく考えることが大切だと思い、この標語を作りました。

県立東備支援学校高等部 3年 仲村 緋乃さん



## 優秀賞

### 【ポスターの部】



総社市立総社東小学校1年 岡本 彩乃葉さん 赤磐市立山陽小学校2年 高梁市立高梁小学校3年 山田 浩人さん 濱岡 楓さん 岡山市立鹿田小学校4年 植田 弥玖さん



笠岡市立大島小学校5年 森田 早都さん 津山市立鶴山中学校1年 松本 夏蓮さん 津山市立鶴山中学校2年 秋山 真杜果さん 岡山市立吉備中学校3年 稲田 知陽さん

### 【標語の部】

ともだちがわらったら わたしにもここに いいきもち 倉敷市立第五福田小学校 1年 多賀 日愛乃さん  
ゆうきだせ!! 見て見ぬふりも いじめだぞ!! 玉野市立宇野小学校 2年 福崎 竜さん  
受けとろう 見えない心の SOS 倉敷市立琴浦東小学校 4年 川上 菜那さん  
あたたかい 言葉一つで みな笑顔 鏡野町立上齋原小学校 5年 平田 輝斗さん  
「やめよう」と 言える私になりたいな 少しの勇気でつながる心 西粟倉村立西粟倉小学校 6年 井上 美嶺さん  
いじめゼロ しない言わない 見逃さない 井原市立木之子中学校 2年 大塚 春奈さん  
大丈夫 その裏側に 気づきたい 倉敷市立福田南中学校 3年 水澤 成菜さん  
その言葉 あなたの心に いいね♥ある? 県立岡山操山高等学校 3年 森安 彩衣さん

# 平成30年度 大好評! 「わが家のすこやか日記」

泣いたり、笑ったり、時にはおこったりと子育ては日々ドラマの連続です。「わが家のすこやか日記」では、家族のふれあいや子育てに関するエピソード等、子どもから大人まで様々な世代の方から昨年お寄せいただいた作品のうち、優秀賞に選ばれた11作品を紹介いたします。 ※学年は平成30年度のものです。

**すきすき たいむが だいすきで賞**

### わたしのすきなこと

わたしはすきすきたいむがだいすきです。だって、おかあさんがぎゅーとしてくれるとあつたかいしんかやさしくなれるからです。まいにちしてほしいです。  
岡山市御津金川認定こども園 甲元 優羽さん

**おとうさんの ぎょうざが たべたいで賞**

### おとうさんのぎょうざ

おかあさんがいないとき、おとうさんがれいとうぎょうざをやいてくれました。かわがほにゃほにゃになりました。わらえるぐらいやわらかかったです。またおとうさんのぎょうざをわらいながらたべたいです。  
新見市立高尾小学校 1年 高西 晴仁さん

**みんなを まもりたいで賞**

### ぼくがまもるよ

おとうさんが、やきんのときに、大雨とくべつけいぼうがでた。お母さんとおばあちゃん、にもつをまとめてにげる用いをした。「ぼくは、男だから二人をまもるよ。」と言ったら、こわがっていた二人が大わらいした。ぼくに、まかせてね。  
高梁市立松原小学校 2年 若山 翔輝さん

**キセキで つながって いるで賞**

### 一つのキセキ

ぼくがお母さんのおなかの中にいる時に、お母さんは「世界に一つだけの花」を歌ってくれていたそうです。ぼくはその事を知らなかったけど、ぼくがピアノをならいだして、初めての発表会でひいた曲が「世界に一つだけの花」でした。毎日練習して、みんなの前でじょうずに出来て、お母さんもよろこんでくれました。発表会がおわった後、お母さんからおなかの中で聞いた歌なんだよと教えられて、おぼえていないけどキセキみたいと思いました。なんだか今もつながっているみたいで、うれしくなりました。  
倉敷市立万寿小学校 4年 犬飼 智稀さん

**あたたかい 気持ちに なったで賞**

### お母さん

お母さんの仕事は2月から3月が一番そがしいです。この期間は土曜日でも仕事で夜の11時に帰って来ます。学校が終わってからは、るす番です。お母さんと会える時間は朝起きて学校に行くまでの数時間でもとてもさみしいです。でも、お母さんがお仕事をがんばっているの、わたしも弱い気もちではだめだと思いがんばりました。仕事が終わっていつもの生活にもどった時、お母さんは「さみしい思いをさせてごめんね。」ときゅっとききしてくれました。心がじんわりあたたかい気もちになりました。  
倉敷市立玉島小学校 3年 佐々木 菜子さん

**ルールを守って 楽しみたいで賞**

### わが家の合言葉

私の家では、手伝いを楽しめるようなルールがあります。それは、何か頼まれたら、「はい、喜んで」と答えるという事です。手伝いがいやでも、この言葉があると自然と笑顔で手伝いをする事ができます。また、注意をされたら「はい、ありがとうございます」と答えるというルールもあります。注意される事をありがたく思うのは大切だと思います。この二つの合言葉は、私の中で、楽しいルールとなっています。これからも、この習慣を守っていきます。  
倉敷市立第二福田小学校 6年 川村 莉穂さん

**これからも 元気でいて ほしいで賞**

### おばあちゃんがきた日

今年の7月10日からおばあちゃんと一緒に住むことになりました。おばあちゃんの家は真備で二階まで水につかって住めなくなりました。一年に2回くらいしか行ってなかったけどおばあちゃんの家がなくなってしまって本当に悲しいです。でも今はおばあちゃんと一緒に住んでうれしい気持ちもあります。お母さんが仕事でなくてもおばあちゃんがいるし色々教えてくれます。自衛隊の人には感謝しています。おばあちゃんを救助してくれてありがとうございます。これからも元気でいてほしいです。  
浅口市立鴨方東小学校 5年 別府 冬真さん

**母の手は 安心するで賞**

### 母の手

この間の西日本豪雨災害で思い出したことを書こうと思います。私は幼い頃、怖い夢を見たりしたときに必ず母に頭をなでてもらい安心していました。西日本豪雨災害のとき、岡山県は災害が少ないと思っていたので、やまな雨に少し怖くなっていました。そして部屋にこもっていると、母がやってきて無言で頭をなでてくれました。それに安心した私はふと「もう少し子どものままでいたい」と思いました。それと同時にこれから進学先の県外で一人でやっていけるのかとても不安になりましたが、いつまでも子どものままでいるのもいけないので、勇気を出して次の春から一人暮らしをがんばろうと思いました。不安になったときあたたかい母の手を思い出してがんばります。  
県立井原高等学校 3年 森岡 砂羽さん

**のびのびと 育てて 欲しいで賞**

### 祖母の愛情

私にはとても優しい祖母がいます。祖母はいつも庭の奥に咲いた『ハナミズキ』を大切にしていました。「なんで?」と聞くと、「これは、あなたが生まれてきたのと同じころに植えたの。」といいました。ハナミズキは大きくなつて育っています。きっと私が大きくなつて育って欲しいという願いをこめて植えられたんだろうなと思いました。  
総社市立総社西中学校 1年 岡本 美空さん

**いつまでも 子育てを してくれて賞**

### 最後の子育て

母が年をとりました。いつも同じ話を聞かれます。思うように片付けができなくなったと愚痴を言います。アドバイスをすると「そんな簡単にはいかん」と聞き入れてはくれません。ひどい時はそれで喧嘩にもなります。ご飯を作るのも面倒くさくなります。体がしんどいと言って半日寝ていることもあります。「あー。年をとると・・・。」と、つい思います。でも、これって私も行く道。数十年後の自分を思い浮かべて、クスリと笑います。「あなたも遠くから、こうなるよ。」と、母が私に最後の子育てをしてしてくれているのだと思うのです。  
津山市 森安 千寿さん

**子育てを 楽しみたいで賞**

### 私の意識改革

最近、気付いたこと。それは、『我が子の顔を見る時間』より、『スマホの画面を見ている時間』の方が、増えてしまっていることです。そのことに気付いて以降、子どもといふ時は、子どもとの会話に集中すること、顔を見て接することを意識するようになっています。時代の波には抗えないけれど、意識することで時間の使い方は変えられると思います。今しか見られない子どもたちの表情を見逃さないように、子育てを楽しみたいです。  
美咲町立美咲中央小学校 保護者 岸田 暢子さん